

## 「シェケムでの出来事 2」

2021年05月07日

三日目になって、男たちがまだ傷の痛みを覚えていたとき、ヤコブの二人の子、ディナの兄弟シメオンとレビは、それぞれ剣を取って難なく町に入り、男たちをすべて殺した。ハモルと息子のシェケムを剣にかけて殺し、シェケムの家からディナを連れて出て行った。ヤコブの息子たちは倒れている者に襲いかかり、町を略奪した。彼らが自分たちの妹を汚したからである。(創世記 34 章 25 節～27 節)

ヤコブの妻レアが7番目に産んだ娘ディナがシェケムという男に強姦されたが、彼はディナを愛し、結婚したいと熱望した。父ハモルに連れられて、ヤコブに、ディナを妻にほしいと申し込みに来た。ハモルは、息子シェケムはディナを恋慕している、互いの娘たちを嫁がせ、一緒に住みましょうと丁重に願った。シェケムも、どんな贈り物をも差し上げるので、ディナを妻にくださいと誠意を込めて申し込んだ。しかし、可愛い妹が汚されたので、ヤコブの息子たちは、あることを企んで、シェケムと父ハモルに言った。「割礼を受けていない者に妹をやるようなことはとてもできません。それは私たちが恥じることです。ただ、男子が皆、割礼を受けて私たちと同じようになるというのであれば、同意しましょう。そうすれば、私たちの娘はあなたがたに与え、あなたがたの娘は私たちがもらい、私たちはあなたがたと一緒に住んで、一つの民となるでしょう。」割礼は「神の民」であることの証しで、彼らの誇りであった。その割礼を受ければ、ディナがシェケムの妻になることを承諾する。ハモルとシェケムの父子は、割礼を受け入れてもよいと思った。シェケムがディナをすっかり気に入っていたので、ためらわずに行うことにした。またシェケムは、家の中で重んじられていたので、彼の願いが通った。

ハモルとシェケムは、町の門に来て、町の人々に話しかけた。ヤコブ一族は友好的なので、十分に広いこの地に住んで、自由に取引引きをしてもらいましょう。彼らの娘たちをもらい、私たちの娘を彼らに与えよう。ただ、彼らが割礼を受けているように、私たち男子も皆、割礼を受ければ、一つの民になることに同意すると言っている。「彼らの家畜、財産、すべての動物は私たちのものになるではありませんか。」割礼を受けさえすれば、一つの民として、一緒に住めると説得した。町の門に集まった人々はハモルとシェケムの言葉を受け入れ、割礼を受けた。彼らはヤコブ一族の財産が自分たちのものになり、豊かになることに同意したのである。カナン人は、どこまでも利益を追う民なのである。

「三日目になって、男たちがまだ傷の痛みを覚えていたとき、ヤコブの二人の子、ディナの兄弟シメオンとレビは、それぞれ剣を取って難なく町に入り、男たちをすべて殺した。ハモルと息子のシェケムを剣にかけて殺し、シェケムの家からディナを連れて出て行った。ヤコブの息子たちは倒れている者に襲いかかり、町を略奪した。彼らが妹を汚したからである。」割礼を受けた痛みで立ち上がれない。息子たちはこれを企み、この機に襲撃して、住民を殺し、富を奪い、子どもと女たちを捕虜にした。ヤコブはシメオンとレビに、「厄介なことをしてくれたものだ。お前たちは私を、この地に住むカナン人やペリジ人に憎まれる者にしてしまった。こちらはごく僅かなのだから、向こうが集まって攻撃してきたら、私も家族も滅ぼされてしまうだろう」と言った。二人の兄弟は、「私たちの妹が遊女のように扱われてよいというのですか」と言い返した。彼らは妹可愛さのゆえに、暴力に訴える復讐に走ったが、ヤコブは、力ある彼らが連合して攻撃されれば、一族は滅亡すると、逃亡せざるを得ない立場に立たされた。